

無人機へ適用する AI技術に係る日米共同研究



令和5年度から

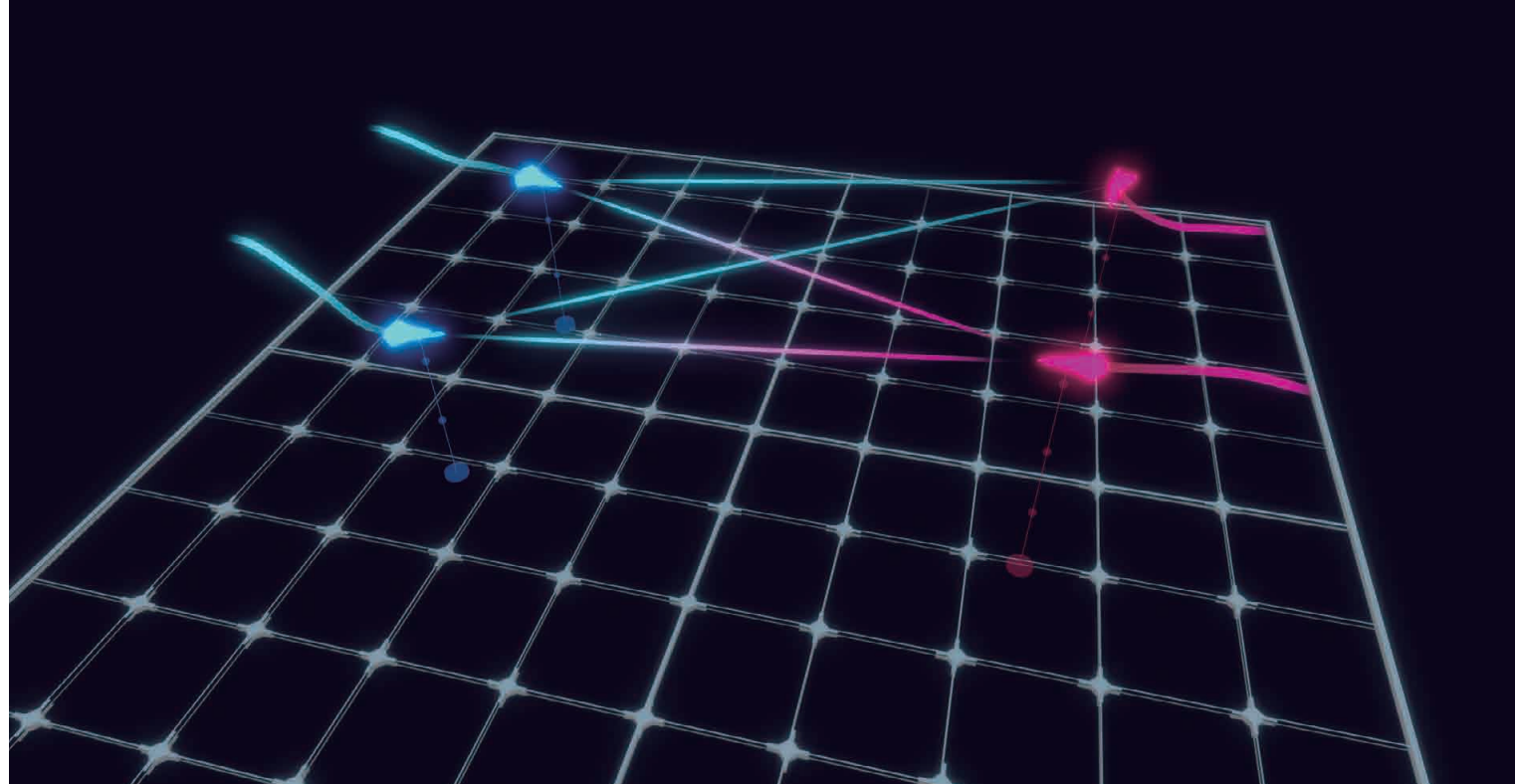
次期戦闘機と連携する無人機への適用を念頭に、無人機の行動判断に適用されるAI技術について米空軍研究所（AFRL）と共同研究を行っています。AIの無人機搭載に関して豊富な実績を有するAFRLとの国際協力を通して、進展が極めて速いAI技術においても一歩先んじた技術力を保持し続けます。

コンポジット・ ワークショップの開催



平成27年度から

航空装備研究所、米空軍研究所（AFRL）及び豪州国防科学技術グループ（DSTG）は航空機用複合材料に関する情報交換を行うためにワークショップを毎年開催しています。本ワークショップへは、民間企業、大学及び政府機関から、オンラインを含めて約70名の研究者が参加しています。本ワークショップを通じて3カ国の技術協力の深化が期待されています。



極超音速飛行技術の 実証に係る関連技術



平成28年度から

スクラムジェットエンジンを搭載した極超音速飛行体の飛行実証を共通の目標として、両機関が保有する技術情報の交換及び試験実施に係る協力並びに意見交換を行い、極超音速飛行技術の獲得における共通課題について、共同して解明を進めています。

航空エンジン技術



平成28年度から

航空エンジン技術の向上に資するため、両機関の航空エンジン技術を相互に提供、共有しています。最近の情報交換の例としては、エンジンの軽量化技術、過酷な環境に適応する技術、クリーンテクノロジー、エンジン内部流れのシミュレーション等があります。また、試験研究設備の相互利用を含めた、より一層の緊密な連携を目指しています。